授業実践事例 17 2021. 9. 9 実施

「総合的な学習の時間」実践事例(オンライン)

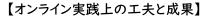
担当 小野智博(3年),井田由紀(2年)

3年 「附中25Project Second Season」ガイダンス

【授業内容】

前期は、「25歳の自分像」をテーマに、キャリアプランニングやGTによる講演などの活動を通して、10年後の生き方について学習を積み重ねてきた。後期は、義務教育9年間の学びを発信するために、「附中生からの未来へ向けてのメッセージ」と題して、学習活動を行う。以下は、本時の取組である。

- I、前期の振り返りと後期のガイダンス(Google スライドを活用)
- 2、レポート課題の提出(Google Classroomにドキュメントファイルの課題を出し,提出日までにオンライン上で提出させる)



オンライン学習期間中で、在宅の時間が多く、調べ学習の時間を確保できる中で、課題を提出できた。

【オンライン実践上の課題】

オンライン上での協働学習の難しさ。





【授業者が発信している様子】



【ガイダンスの画面】



【学習者が提出したレポートの一部】

2年 「大分を見つめ発信しよう」2ndSTAGEへの第一歩

【授業内容】

前期,農業をキーワードにして「大分県の魅力」を考える活動を通して、探求学習の方法や ICT の活用方法について学習を積み重ねた。後期「大分県の魅力」をいろいろな視点から発見していくために「SDGs」をキーワードとして探究活動をおこなう。本時は、オンライン授業で可能な課題設定の準備を次のように行った。

- I、前期を振り返る(Google Form を活用)
- 2、課題の候補について話し合う (Google Meet によるグループ活動) (スプレッドシートを協働作業して意見の集約)

【オンライン実践上の工夫と成果】

オンラインで可能な活動を切り取ることで授業を実践できた。 新しい協働作業の形を考えることができた。

【オンライン実践上の課題】

自由な発言を伴う活動には有効。合意形成は対面授業が望ましい。 通信環境により作業や活動に個人差がでてしまう。





【授業者が発信している様子】

☆ DD © 豊沢 美入 貴州町式 データ ツール アドオン ヘルブ ※	MER BHAL GROSS JAL		•	B na
1 + 7	1 + <u>▼</u> + ⊞ □ - E - ∓ - h - 5 - oo to ⊡ ±	٠ ٢ ٠	8 -	
				-
大分似の観光 (温度等: のリヤーチ				
大分の海の豊かさ	インターネット、専門室の方に各科を			
大分の個人部について 人公の間区の物色や触力について	インターネット インターネット			
大分付近の次の様子	インターネット、油作へのインタビュー			
大分の改集の課題について	128E2-			
大分の報光の特色	インターネット			
大分の音の様から	インターネット、古門家の方に暮むる			
ASSの基準をより向くする			-	
大分の報告の連択して	(39-20)			

【スプレッドシートによる協働作業】





【グループによる話し合い活動】